

地域農業開発学特論 (2 単位)

担当者氏名 山田隆一

◆学習・教育目標 (到達目標を記載)

農業開発において重要なことは地域の固有性 (経済的, 社会的, 文化的固有性) に着目し, その固有性に応じて開発の方向性や手法を定めることである。そのことが地域農業開発のあり方そのものである。以上のような点に留意しながら, バングラデシュ, ベトナム・メコンデルタ, インドネシア, ラオス北部山岳地域などの事例に基づいて地域農業開発を具体的に学ぶ。到達目標は, 地域の固有性に応じた農業開発の課題を自ら考察できる能力を養うことである。

◆取り扱う領域 (キーワードで記載)

<u>固有性</u>	<u>実践的農業開発</u>	<u>FSRE</u>	<u>ベトナム・メコンデルタ</u>
<u>農民技術</u>	<u>地域社会</u>	<u>山岳部</u>	<u>水産資源管理</u>

◆授業の進行等について

	テーマ	内容	準備学習(予習復習)等の内容と分量
1	地域農業開発の概観	地域農業開発学とは? 地域農業開発の概観	授業のねらい: ①地域農業開発の具体的事例から課題を考察する。 ②各事例を比較考察してみる。 準備: ①配付資料をもとに予習すること。 ②対話形式で授業を進めることが多いので, 積極的に議論に参加すること。
2	開発と地域の固有性	農業開発における地域の固有性を考える	
3	農業開発と貧困削減	貧困削減を目指した地域農業開発	
4	実践的農業開発	バングラデシュの実践的農業開発の事例	
5	FSRE (1)	ファームシステムズ・アプローチの診断と設計	
6	FSRE (2)	ファームシステムズ・アプローチの試験と評価	
7	地域農業開発と普及	ベトナム・メコンデルタにおける開発・普及の事例	
8	地域農業開発と環境	持続的農業開発とは? アグロフォレストリーの展望	
9	農業開発と農民技術	SRI の展開 (インドネシアにおける事例など)	
10	農業開発と農業経営	地域農業開発に果たす農業経営学の役割	
11	農業開発と地域社会	農業開発と地域社会, 組織の関係	
12	山岳部の農業開発 (1)	ラオス山岳部における特用林産物利用の意義と課題	
13	山岳部の農業開発 (2)	ラオス山岳部水産資源管理に関する研究・開発の事例	
14	アフリカの農業開発	アフリカの稲作と畑作の開発事例と今後の展開	
15	まとめ	これまでの講義の総括と復習	

◆教科書及び資料 (授業前に読んでおくべき本・資料)

資料配布

◆授業をより良く理解するために便利な参考書・資料等

『ファーム・システム研究 理論と実践』農林水産省国際農林水産業研究センター (2000 年)

◆評価の方法 (レポート・小テスト・試験・課題等のウェイト)

レポート 70%, 議論への参加状況 30%

◆オフィスアワー

毎週木曜日 13:00~14:30

◆その他受講上の注意事項

参考文献の入手は必須ではない。議論に参加してこそ思考力が身に付く。